

一九七七年十二月第三種郵便物認可
（毎月十八回）二・三・五・六・七の日発行
二〇一九年九月二〇日発行SSKP増刊通巻第七二五六号



令和元年度 千葉県自閉症協会 通常総会模様



令和元年5月25日、千葉県教育会館604号室において、各地区自閉症協会の代表者が出席して令和元年度千葉県自閉症協会通常総会（通算48回）親の会、支部を経営が開催されました。会長の

屋滋氏の挨拶の後、来賓紹介があり、来賓者を代表して千葉県障害者福祉推進課課長萩原稔之様、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課課長酒井昌史様より祝辞を賜り、千葉県知事森田健作様、千葉県社会福祉協議会会長白戸章雄様より賜った祝電が披露されました。

東総地区自閉症協会の林氏が議長に選出され、平成30年度の活動報告、会計報告、監査報告と令和元年度の活動計画、予算案がそれぞれ担当役員から報告され、各議案とも承認されました。

来賓として、千葉県障害者福祉推進課課長萩原稔之様、千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課課長酒井昌史様、千葉県特別支援学校校長会 会長堀子榮様、君津児童相談所 所長小熊良様、千葉県中央障害者相談センター所長西織哲大様、千葉県知的障害者福祉協会副会長・社会福祉法人葉の花会理事長小林勉様、千葉県社会福祉

千葉県自閉症協会
会長 大屋 滋
事務局 千葉市中央区支鼻二一九一三
CAS内
URL: <http://www.interq.or.jp/japan/aschiba/>



事業団理事長相馬伸男様、千葉県発達障害者支援センターセンター長館山聡様、千葉県障害者就業支援キャリアセンターセンター長藤尾健二様、千葉県TEACCHプログラム研究会代表西村則子様、千葉県手をつなぐ育成会会長田上昌宏様、千葉県発達障害児・者親の会「コスモ」副会長山口浩美様にご出席くださいました。

Qidall会場では、11時の開会式の後、自閉症の方たちが奏でるミニコンサート、キャラバン隊千葉市「ららら」の公演「自閉症ってなあに！」、リオマルカバンドのプラスチックバンド演奏、障害のある

千葉県自閉症協会は、千葉県発達障害者支援センターCAS、千葉県発達障害者支援センターとともに「世界自閉症啓発デーinちば実行委員会」を組織して、4月13日（土）にQidall千葉市中央区中央4-5-1）1Fアトリウムで「第11回世界自閉症啓発デーinちば」を開催しました。千葉県と千葉市が共催、ジェフユナイテッド市原・千葉と千葉大学こどものこころ発達教育研究センター、NTTデータグループ有志社員一同が協力下さいました。

目次	
令和元年千葉県自閉症協会総会模様	P1
第11回世界自閉症啓発デーinちば	P1
講演抄録自閉症児の将来を考える	P3
2019年東総地区親子の旅	P10
松戸・柏・我孫子・野田・流山 キャンパ	P11
親子遠足のお知らせ	P11
活動日誌	P12
会員数の動静	P12
編集後記	P12

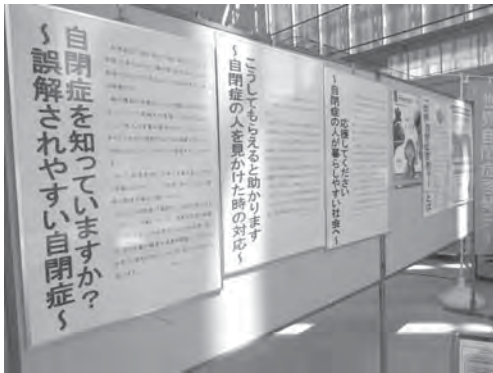
第11回 世界自閉症啓発デーinちば ～みんな大切な仲間です～



人もない人も一緒になって楽しむミュージカル劇団JAMBOの公演と盛りだくさんのプログラムで、チーバ君も参加してとても盛り上がりました。

QJail会場には各地区協会のパネルや自閉症の人たちの絵画などの作品を展示しました。

イベントを楽しみに会場に訪れた方々、たまたま通りかかった方々、多くの方々が熱心に見ていました。



4月13日のイベントに先立ち、3月25日には、ジェフユナイテッド市原・千葉のご協力により、試合会場のフクダ電子アリーナで啓発チラシとノベルティのボールペンを配布しました。巨大電光掲示板オーロラビジンには啓発メッセージが大きく表示されました。

また、県民だより3月号、千葉市政だより3月号への掲載をするとともに、4月2日～13日の期



JR千葉駅前では啓発チラシとボールペンを配布しました。チーバ君も駆けつけてくれて、子供たちにも大人気でした。

間、千葉市モノレールの車両にポスター提出しました。4月2日、4月8日の啓発週間の期間、千葉市ポルトタワーを自閉症カラールのブルーにライトアップしました。

県内各地域でより多くの一般県民の方に自閉症について知って頂くため、3月5日に柏、3月7日に我孫子、3月8日に成田、3月12日に流山、3月16日に旭、3月18日に木更津、3月25日に船橋、4月2日にイオン幕張新都心で、CS (Caravan Station) と銘打って各地区協会と協力し、啓発チラシとノベルティのボールペンを配布しました。



(広報部)

講演抄録

自閉症児の将来を考える

「家族・支援者を知ってほしいこと」

講師・株式会社Kaiein

代表取締役 鈴木慶太 氏

日時・平成31年2月16日(土)

14:00~16:30

会場・千葉県教育会館

604会議室

千葉県自閉症協会とは、10年前にKaieinをつくりました前にごあいさつさせていただいたときからのご縁です。自閉症は奥が深い世界で分からないところもたくさんあります。なるべく私が見ている現場の風景をリアルにお伝えできればと思っています。

当社は大人向けと大学生専門学校生向けと子ども向けのサービスを提供しています。子どもと大人向けは福祉サービスです。大学生専門学校生向けサービスは親御さんからお金をもらっています。千葉県では子ども向けサービスが本八幡で先月からスタートできました。



はじめに

本日、伝えたいことを持って帰っていただきたいことを最初にお話します。

ここ10年ぐらいで自閉症スペクトラムや発達障害という言葉が一般化してきました。事件、事故が起こると、実は自閉症の診断ということと誤解されることもありませんが、ポジティブに捉えていただけているウェブサイトやニュースが多く理解は広がっていると思

います。ただ、一般的なワードの理解と個別具体的な対策はかけ離れています。この子の場合ならこうしましょうとか、こういう対策がありますねという話ができれば良いのですが、講演方式では無理なので、なるべくそのヒントをお話しできればと思っています。

発達障害の方の就職支援の手法は決まってきました。大体は当社がしてきたことが認められ、デファクトスタンダード化したと思います。ハードスキル型の職能訓練ではなく、ソフトスキルを体験の中で学んでいくことです。発達障害の方で簿記やパソコンといったハードスキルが身に付かなくて仕事ができない方はほとんどいないと思います。自己理解やどういう仕事に合っているか。他の人とうまくいこうと絡んでいくかといったところで苦しんでいます。ソフトスキルとか自己理解はレクチャーでは伝えられません。体験の中で、なるべく細かくフィードバックしていつて学びます。発達障害とか自閉症の方はリアルな状況だとカラフル過ぎて付いていけない。だから、すごく色を絞った、分かりやすくした、構造化した環

境の中で練習します。学校と職場の中間ぐらいの所を用意する。その中で練習をして徐々に複雑なカラフルな世界に近づけるようにするのが、発達障害の方の就職を支援するときの標準になっています。

ある程度きちんと準備をしたから、今は就職できる確率がものすごく高くなっていると思います。大きな話をする、職場から団塊の世代がいなくなっています。でも、消費者としては残っています。しばらくは、日本は消費者が多く働く人が少ない国です。いろんな働く人を受け入れていかないといけない。子育てをしているシングルマザー、外国人労働者、LGBTの人の人も含めません。そこに多分、障害がある人とか、生きづらさを抱えている人も入ってくると思います。多分ここ10年、20年ぐらいは、全員とは言えなくても就職したい人は就職できる環境に近づいています。

今は、障害者がいないとおっしゃる企業、福祉の現場が多いと思います。昨日、大手人材会社に当社のスタッフが行ったら登録数が激減している。仕事に就いている人が今までよりは多い。ただ、

そこでどう定着し活躍してもらうかが課題だと思います。

障害者手帳を持って働いている人の割合はそんなに変わっていないと思います。統計を見ても、そんなに変わってなさそうです。過去の苦しい経験から働こうという気力がなかなか湧かない状況の人たちが多い。就職したいと思ってもらうには、子どもの頃からの積み重ねとか、二次障害を負ったときのサポートが重要だと思います。発達障害、自閉症の方は曲がれない車みたいですので、就職後の定着には世の中が右へ行ったり左へ行ったりする中で、どうやって調整できるかが重要になってきます。

発達障害を知ろう

発達障害を私はどう捉えているか、発達障害の方にどう対応、支援をするのがキモと私が思っているかをお話しします。

まず、発達障害の人の割合です。40年前、TEACCHができたときのアメリカの自閉症の人の割合が0.04%でした。その数字が今は1.7%になっています。文部科学省が出している普通級にいる子の中で発達障害と思われる子の

の割合が6.5%です。アメリカのティーンエイジャーのADHDの割合は11%です。定義はすごく曖昧で広いですが、発達障害はかなりの大きな少数派になってきました。

日本の障害者手帳を持っている人の割合は7.4パーセントです。最近増えてきたのは65歳以上の方です。もうすぐ10%を超しそうです。発達障害の人の割合は障害者手帳を持っている人全体よりも多いかもしれないので、私は最近「1億総発達障害」と言い始めています。発達障害は連続性を持って見たほうが支援しやすいし、分かりやすいと思います。1億総発達障害なのに、苦しんでいる人とある程度社会に適応している人がいるのは、障害の重複とか、ここぼこぼこが非常に強いとか、いろいろなことが考えられます。当社の今後5年ぐらいのキーワードが、1億総発達障害的な発想です。どういうサービスをつくれるか、社会にアピールしていけるかを考えています。

何らかの環境要因もあるのではといわれています。1億総発達障害の立場からは、障害ではないが仕事で下手という人も発達障害と理解していいのかもしれない。ただ、うつとか双極性障害、パーソナリティ障害、愛着障害とかとの区分けはすごく難しいと思っています。

発達障害は四つ考えておけば大体よいです。自閉症スペクトラムとADHDの不注意優勢型、ADHDの多動・衝動性優勢型と学習障害の4つです。

私は今まで1万人弱ぐらいの発達障害の人をカウンセリングしていますが、来た人をアセスメントするのに次の四つを使っています。

まず初めに生まれいづる環境です。ご両親とかご家族がどのような価値観を持って、どういうふうな環境で育て始めているのか。横浜リハビリテーションクリニックの中原先生がおっしゃるのは、発達障害の人は自我が作りやすい。育つ土によって変わりやすいということ。なので、親の価値観とかどういう環境で育とうとしているのかを見ます。

次にASD、ADHD、LDで

すが、まずASDタイプなのか、ADHDタイプなのかを見ます。基本的には重なっていて、連続していると考えたほうが良いです。ADHDは自分をどう制御するかが混乱しているタイプ、ASDは情報のやりとりで混乱しているタイプ。ADHDのほうが高い人は、情報はうまく受信しているけど、情報の整理がうまくいっていない。ASDの人は情報を入れることや出し方が下手。いずれにせよ情報の混乱ぶりが共通しているところです。どちらがより強く出ているかなぐらいでしか私は見ていません。

(リーダーチャート)を描いていくことです。評価する項目は、コミュニケーション、集団適応、共感性、こだわり、この辺りが自閉症スペクトラムのところです。感覚、反復運動、粗大運動、微細協調運動、この辺りが発達性協調運動障害のところです。不注意、多動、衝動性、睡眠リズム、この辺りがADHDのところですよ。学習、言語発達、ここは限局性学習症(学習障害)になります。私が聞いたのはアメリカでは自閉症スペクトラムとかアスペルガーは保険が利くが、ADHDは利かないので厳格に診断を分けるようですよ。私は発達障害に触れれば触れるほど、そんな簡単に分けられないと思っています。MSPAのリーダーチャートはこの辺がでこぼこしているのかを見やすくするものです。これは年齢とともに変わらぬので、一度これを取ったら、基本的に使い回すことができます。

次に、LDが入っているのか、発達性協調運動障害が入っているのか、言語障害とかを見ていきます。ここで知的障害者を見ていくので、IQの(い)は(い)も見ていく。IQは100が真ん中で130以上と70以下は大体2パーセントぐらいです。知的障害が70以下で、130以上は知的障害じゃないけど、頭の回転が速過ぎて、世の中に付いていけず逆に苦しいといわれています。IQの高低もやはり生きづらさと関係します。高ければ生きやすいというわけではないです。

WAISとかWISCでは言語理解、知覚統合、ワーキングメモリー、処理速度の4つの指標を見ます。言語理解は偏差値とリンクしていると思っています。言語理解が高ければ勉強は結構できる子が多い。言葉の理解の1対1対応がすごく上手です。でも、人との会話のときに同じ言葉でも違う意味を持ちたりします。そうすると急に崩れたりします。自閉症のキモと思いますが、知覚統合、知覚推理と言われるところですよ。ここは私の理解だと複数の情報から一つの意味を見いだすこと。雨が降って、みんながきちゃあって言ってきたときに、傘を差し出す。幾つかの情報が集まって、一つの意味、行動、発言につなげる。知覚統合が低いと、対応が幾つもあると、混乱したり、止まりやすいです。ワーキングメモリーが苦手だと抜け漏れしやすいし散らかりやすい。ちなみに言語理解とか、知覚統合とか、ワーキングメモリーは、アプリを使ったり、他の人に頼ったり、案外サポートの方法とか対策がとりやすいです。一番対策が多分とりづらいのか、処理速度です。助けられないので、速度に合わせ仕事も選んでいく必要があります。四つの群指数について、例えば、言語が100の人が100処理するのと、言語が140の人が100処理するのは、言語理解が高い人のほうがストレスがたまり苦しい。私はそう理解するようになっています。最後に見るのが二次障害です。生い立ち、後天的にどのような性格になっていくかだと思います。難しいのは、実際に人に会ったときに、この四つが全部混ざった状態で、あなたの目の前に現れます。本人が混乱しているのが、生まれいづる環境の影響か、ASD、ADHDなのか、知的な問題なのか、学習障害なのか、中学校時代のいじめが影響しているのか、原

因分析を幾つもの重なりから多分ここだと見つけなければいけない。これは、結構多くの人に会っていかないと見分けづらいところ。うまくいったくない理由をどこに持っていかにより対策も変わってきます。



発達障害への対応・支援のキモ

発達障害への対応、支援のキモは情報の混乱を解くことです。こゝんがらがったスパゲティをどうやって解くかが、ADHDであれば、

ASDであれば、LDであれば、基本的なサポートになると思います。ただし、家族から虐待を受けているとか、非常に厳しいしつけを受けているとか、失敗経験があつてうづが強くなつていたりとか、心の病まで発展していることはあります。支援者として、あるいは親としては、情報を上手に整理してあげる論理的なサポートと心のサポートの二刀流が必要になります。自説ですが精神障害も発達障害から発展していると考えるのが普通なのかもしれないと思つています。今までは主に10代以降は何かのトラウマがあるから精神障害になると考えられていた。10代以前は愛着系から発展する精神障害です。トラウマ系か愛着系かという見方をされますが、発達障害の人が精神障害的になるのは、自我がうまくつくれないので精神的に振れやすいのかなと思つていま。発達障害の話をしているときに、精神障害を抜きにしては語れないです。当社に来ている人の、大人だと半分ぐらいはうつとか双極性障害とかの診断が付いていない半分の人が精神障害がないか

というとなんか抱えていない。いろいろな難しさを抱えている方が多いです。発達障害の対応、支援の基本ですが、情報のずれを私は四つに分けて考えています。認知つまり受け取りのところが下手なのか、表出つまり出すところが苦手なのか、それとも、処理とか制御が苦手なのか。この四つのずれをどうサポートするかという構造化です。ゴールは情報を圧縮してあげることです。私は五つ（構造化、視覚化、単純化、反復化、粒度細分化）に分けています。よく使われるのが構造化。そして視覚化。具体的に言えば文字にするとか、絵にしてあげるとか、図にしてあげるとかです。次に単純化。伝えなくていいのはどんと落として、要る情報だけを伝える。粒度の細分化は、情報を細かく切つて小分けにして伝えます。同じことを反復すると、その情報は処理しなくてもできるようにするので、次の情報が入る空間ができてきます。発達障害の特性を全部持つてい

る人はいません。本人ができないときに、視覚化すれば済むケースもありました。粒度の細分化しなくても単純化すれば済む場合もあります。粒度を細分化すれば済む場合もある。構造化すれば済む場合もある。全部やる必要はなくて、何かをうまくできないときに、どこかのレバーをひねり始めてください。構造化もいろいろあります。物理的構造化は、例えば当社の子どもの向けのサービスでは、勉強を教わる所とプリントを書く所が分かれていきます。誰でもそういう傾向はあると思いますが、発達障害の人は物理的に構造を区切つたほうが良い。スケジュールは時間の構造化、見える化です。高校生まで発達障害の人が暮らしやすいのは、日常がスケジュール化されているからです。うまく時間的な管理ができないときは、学校のようにスケジュール化してあげると良いです。ワークシステムは自動的

に終わりとか、区分けが分かる仕組みです。例えばマクドナルドは、多分ワークシステムがすごく綿密にできていて、多くの人が働けるようになっていと思います。マニュアルも構造化になります。このように、発達障害の人を支援す

るとき、情報の混乱を防ぐには構造化等により情報を圧縮するのが有効です。



Ka i e n のプログラムとキモ

当社は、大人向けの就労移行支援、大学生専門学校生向けガクプロがあり。大人向けは福祉でおおむね無料ですが、ガクプロはお金をもらいます。子ども向けは福祉で学習支援とお仕事体験があります。

冒頭でお伝えしたように発達障

害の方の就職を支援するときには、体験したほうがいい。その中でソフトスキルを伝えていったほうがいい。当社は100種類以上の仕事を用意しています。仕事によってコミュニケーションが違うとか、段取りが違うというのを感じてもらい、本人の適職とかソフトスキルの向上をしていくのが当社のやり方です。これが大体、デファクトスタンダード化されたと思います。大事なのは振り返りです。発達障害系の人には感想が苦手。

仕事の体験をしても、それをどう自分の経験として言葉にするかを一緒にやってあげる必要があります。この振り返りがすごく重要です。なぜ楽しいと思ったかというと自分のこぼこにうまく合っていたよねとか。指示の受け取り方、こういうふうにするとうまくいくねとか。困ったときに、忙しそうなんでもこういうふうな相談の仕方をする、相手が怒らずにうまく相談できるねというようなことを、失敗ができる中で、いろいろ繰り返し学んでいくのが重要です。ちなみに、この自己の振り返りは、大人向けのサービスでは2週間に1回ぐらいしています。例

えば志望動機とかも、なかなか難しいので、穴埋め式で書いていくと勝手に志望動機になる便利ツールもあります。

発達障害の人へのサポートは、スモールステップがすごく大きなキーワードになります。いきなり面接練習とか自己理解を深めようとかは難しい。受動的に知識として勉強する時間が必要と思っています。当社ではスモールステップとして、動画を見ているだけで、「就活したね。偉いね」みたいに言ってもらえる時間がかなりあります。発達障害の人是一般の人と違いここが得意で、ここが苦手と大体決まっているので、実は動画を作るのもすごく簡単でした。当社にどういう人が通っているかというところ、IQ 60以上ぐらい、一番多いのはIQ 90ぐらいです。大学生でもほとんど知られていない大学の子がたくさん来ています。彼らが就職をしていくと、大体平均17万円ぐらいの初任給です。結構高いと言われます。障害者枠でも経験がある方だと20万円を超す求人も結構あります。今、3割ぐらいが20万円以上かなと思います。障害者雇用は明らかに安

定性が高いです。当社だと、1年後95パーセントぐらいの定着率です。発達障害は私が始めたとき一番難しい障害といわれたんですが、今は明らかに一番簡単な障害です。発達障害と知的障害が安定しやすいというデータが出ています。ただし、配慮がない一般枠にいったときには当然定着率はすごく低くなります。

支援で気を付けたところ

発達障害の人に合う仕事は何ですかと良く聞かれます。ASD系の人には、経理・財務、法務・情報管理、コールセンター、テクニカルサポートなどルールやマニュアルがしっかりしている職種、ネットワークエンジニア、電化製品等の販売員、塾での問題作成など、数字・論理や豊富な知識で対応できる(人の気分が左右されにくい)職種、CADオペレーター、工業系デザイナー、設計士など、視覚情報が重要な職種。ADHD系の人には、編集、記者、デザイナー、カメラマンなど自分の興味を発信できる仕事、料理人、整備工、プログラマー、アニメーター、デザイナーなどモノ作りに

関わる仕事、研究者、学者、塾講師、教員など専門分野に特化できる仕事。と私は一応言っています。ただ、気を付けていただきたいのは、

まずASD、ADHDとは簡単に分けられない。本人は仕事の名前を言っただけだと思いが、ちょっと危険です。ASDっぽい人には、ルールやマニュアルがしっかりしているとか、数字や豊富な知識で対応でき人の気分に左右されにくいとか、視覚情報が重要とかいうところが向いているよねとは言っています。

活かせる特性（動意が強い、素直である、成長意欲がある、発想力がある・・・）をポジティブに受け止めてくれる会社にいつてほしい。例えば、細かいことに気付けるのは場合によっては嫌がられるかもしれないが、それをうまく伸ばせる伸ばしてくれる社風の所、職場、職種に行ってほしいと思います。

やはり、定着が難しいと思います。1年の定着は簡単です。だけど、年齢が重なっていったときに安定して働けるかという、結構怪しい。今、50年同じ企業に勤めるのはちょっとあり得ないので、

障害者雇用であつても転職することを前提に支援しています。

中高年以降の健康維持には、小さい頃の生活習慣の影響がかなり大きいと思います。健康的に生きて、長くきちんと働ける支援を考えていったほうが、本人も気が楽だと思えますし、落ち着いて接することができるとは思います。

残念ですが、男の子はほとんど結婚できません。女の子は案外、結婚します。不思議系を愛する男性が多いようです。だけど気を付けないと変な人にくつついちゃう。ガクプロに来ている女の子と見ていると、発達障害の人のほうが性差は激しい気がします。

男の子の場合は25才ぐらいになつてようやく女の子を意識してゐるのかなとなりますが、女の子の場合は、18才ぐらいから自分の将来はどういう人と結婚したほうがいいのかみたいなこともちゃんと考えている。こういう人と結婚したほうがいいよとカウンセリングでは言ったりします。面倒見が良く、認知行動療法を一緒にやってくれるような人を選ぶとよい。

男の子はパートナーがいない状況をどう乗り切るか、結構大きな

課題になります。趣味の世界で活躍できている人は安定しやすいと思います。一生続けていけるようなコミュニティに入つてほしいと、支援しながら思います。当社はそういうふうなことも考えてはいて、毎月各拠点で、修了生も参加できるサロン、飲み会をやっています。

傾聴だけのカウンセリング、形だけの傾聴はあんまり良くないでお勧めできません。母子カプセルについては、母子カプセルにならざるを得ないタイミングとか家庭はあるはずですが、徐々に離れていくのが重要です。就職活動になつたら、絶対手伝わないとこだわりの見せる親御さんがいます。が、それはよししたほうがいいです。急に、はしごを外されてもできるはずがない。徐々に離れることは必要ですが、急に離れないでください。言うのは簡単なんですけど、なかなか難しいです。

大きな視野で考える

就職したいのに失業して困っている人は少なくなつてきています。これからの支援とか親が気にするところは、働きながら困らな

いかな、どうしたら安定できるかなということ、二次障害、ひきこもりをいかに回避できるかです。働きながら困っている人、二次障害で引きこもっている人、いかにリーチできるか、Kaizenとか鈴木に頼むといいことあるなと思つてもらえるかが大きな課題と思つています。

昨年つくつた大阪の拠点では80パーセントぐらいの人が一般枠で就職している。急激に一般枠に就職する人が増えている。ガクプロでは、今まで7割ぐらいは障害者雇用だったのが、今年は4割ぐらいです。一般雇用がすごく増えてきています。ただ、障害者手帳を持つている人の8割ぐらいが、まだ働いてない。すごい大きな数だと思います。就職ができていない人は、ずっと就職できてない。障害者雇用が進んでいるのは、障害者になる人が増えているため、普通の世界から障害の世界に入った人が障害者雇用で就職しているといった感じかなと思つています。いい意味で人手不足になり、発達障害に対する理解が進んで、ある程度オープンにしても一般枠で受かる可能性が増えてきています。

一般枠がすごく多様性を受け止め始めて、LGBTとか発達障害が入り始めています。一方で、障害者雇用は、二次障害で引きこもっている人とか、働きながら困っている人とかをどうサポートしていきけるかとなっていくと思います。

障害者雇用の歴史の大きな流れを見ると、1950年代からインクルージョン型の障害者雇用、つまり普通の職場で雇うことが始まります。これが理想的で今もここは膨らんでいるとは思いますが、ただ、それだけだとうまくやっ

ていけない人が出てきました。1990年ぐらいに、知的障害の人は別に特別な会社をつくり雇う特例子会社制度ができました。ここで爆発的に知的障害、そして2000年代に入ってからには精神障害の雇用が進んでいます。

ただ、これだけだと企業も切り出す仕事がない。これから障害者雇用を膨らますには、一番極端なのがテレワークです。もう進んでいて、リクルートオフィスサポートが北海道とか沖縄でテレワークを始めています。SUMOの不動産の登録番号が、有効期限が切

れてないかのチェックをします。ただ、テレワークは自分で律する自律ができてないとできないので、全員がこうなるのはなかなか難しい。特に仕事した経験がない人にはテレワークは難しいと思います。

今年度、厚労省がお金を付けているのはサテライトオフィスです。私は集団テレワークと呼んでいます。特例子会社との違いは、社員がいない。だけど、支援員はいる。仕事と福祉の間みたいなき感じ。企業は賃料が安い所で雇えるし、本社の社員を外向させなくてもいい。

一般枠で就職する人たちもいるし、障害者雇用の人もいるし、既存の障害者雇用ではない形もいろいろ用意されつつあるということです。

今は、療育を小さい頃受けた子が中学校通級で通い、高校はサポート校とか通信制へ行くという子が増えています。その子たちは、あまり困り感がなく、今のままで良いですよと言う。そういう人たちはどうやって面白く働いてもらうか、仕掛けを持っておかないといけないと思っています。当社も

神奈川でサテライトオフィスを来月つくります。企業にそれを売っていきます。当社としては場所を売るような感じ。声優が好きなのが、朝、今日は行こうかなと思ってくれるだろうから、そこに毎週、声優が来るようにしようとか。そんなことまで考えるぐらい、意欲のない子、あるいは精神的に参っている子が多いです。

診断を受け止められないタイプの方がいます。私はセミオープンと言って診断名は言わないが、困り感とかこう配慮してほしいと言うようにしようと言っています。

1億総発達障害だとすると、あなたの特徴はこう、この辺は変わりづらい、だからこういうふうに工夫してもらおう、みたいな言い方です。レットテル、看板を外して中身だけ伝えることによって、受け止めてもらえるケースが多いと思います、日々接しています。

最後に、これからの時代は合理的配慮、セルフ・アドボカシーがキーワードになると思っています。今までは、2年前までは、障害者はこういうふうにはサポートしていけば良いみたにな十把ひとか

らげの、事前にこれやとけば文句言われないな法律でしたし、雇用の手法でした。それが大きく変わって、一人一人違う、だから一人一人聞いて、それに対応しようとなった。対応できる部分とできない部分はあるかもしれないけど、一人一人聞いていこうということになりました。

良くなったかと思いますが、実は若干、落とし穴があります。自分から言い出さないといけないのです。自分はどういう苦手があるか、こういうような配慮が欲しいという権利を獲得していかないといけない。つまりある程度、自己認識、自己受容ができていないとサポートしてもらえない時代になりかねない。そうすると、過剰でなく自分はどういう人間で、こういうサポートをしてほしいというのが言えるようになるのが重要だと思っております。

自分はこういうふうにしたほうがより良く学べる、こういうふうにしたほうが会社に貢献できる。だからこう配慮してくださいという文脈で、自分の特徴を捉えるように、子どもの頃から刷り込んでいくのが重要です。ポジティブ

な文脈できちんと伝えられるように、それができる人は、上手に自分に働きやすい現場を整えていけると思います。それができないともったいないです。

特にまだお子さんが小さい場合は、別に診断名とかは言わなくてもいいと思いますが、自分はこういうタイプなのでこういうふうにしてくださいというふうには、ポジティブに言い出せるようにしておくのが、最終的に就職にもつながりやすいと思いますし、その職場で定着しやすくなると思います。



（文責 広報部）

2019年東総地区親子の旅

東総地区 竹蓋伸六



東総地区の親子の旅は8月17日（土）、18日（日）でした。参加者は本人12名、家族支援者合わせての総勢は42名です。今年も香取市役所と社会福祉法人口ザリオの聖母会様よりバスを借り受けることができました。

雨天による予定変更は本人にとって残念なので、それは晴天祈

願ということには異論はないのですけど、近年の夏の暑さには閉口を通り越しております。旅行中少しぐらいおテントウ様は雲の影に隠れてもらいたい。といっても今年もやはり暑かったです。そういう意味で屋内での活動を選択しました。

大洗アクアワールドには親子の旅として久々の訪問。夏休みの土曜日、混雑は覚悟の上とはいえ、順路通りに見学すると狭い通路に人々の声が反響して音の刺激が苦手な人には大変だった、申し訳ない。さて、昼食もここで済ます予定なので休憩場所を確保しなければならぬ。ここの休憩スペースは団体での予約はできないので、お母さんたちに確保してもらう。作戦成功。フードコートメニューは豊富なので食べたいものは大丈夫です。

今夜も泊りはピアスパーク。恒例のBBQ、露天風呂、そして2次会。

二日目、今まではピアスパーク至近の砂沼サンビーチのプールでしたが、残念なことにサンビーチは昨年をもって営業終了となってしまいました。まあ、親も本人も

年齢が高くなって灼熱のプールサイドはしんどくなってきたから、と慰めております。それで本年はこもればの森イバライドでランチバイキング&アイスクリーム作りとなりました。

毎年毎年、福祉の事業所の職員さんと特別支援学校の先生方のマントゥーマンの強力な支援を賜っており、本年も無事に旅程を終えることができました。本人を交えて違う施設の職員さんが支援について気付いたことを話していたり、支援学校の先生と情報を交換したりして、自閉症の人のことや一人ひとりの支援の様々なことを知ってもらおう、とてもいい機会でありました。ご理解ご支援を賜りました多くの方々に改めて深く感謝をいたす次第であります。



松戸・柏・我孫子・野田・流山キャンピング

松戸市 加藤愛子



7月29(月)30(火)に本人8名を含む25名で栃木県大田原市へ行きました。8組の親子中2組が初参加。わが親子(本人小四・母)も初めての参加でした。

先の見通しがつかなかったり、初めての場所、家以外での宿泊を嫌がる息子のために事前に旅行で訪れる施設や宿泊先の館内写真を見せたり、各イベントの説明をし

ていました。ただ、説明をしていたら安心というわけにはいきません。実際に現地に行ってみないことには息子がどう反応するのか分らないため、旅行中は本人よりも私の方がドキドキしていたかも知れません。

他に心配だったことは、ボランティアさんとの関係でした。今までボランティアさんに付いてもらった経験がない息子に、一泊二日の旅を初対面の方と一緒に過ごすことが出来るのだろうか?という不安でいっぱいでした。実際に旅行に行ってみると私の心配をよそにすんなりとボランティアさんの存在を受け入れている様子でした。ただ、息子のプロフィールは事前にボランティアさんにお知らせしてありましたが、簡単に理解してもらえないものではありません。息子は自分の要求・思いが伝わらずストレスを感じているのを傍で見ているひしひし感じながらも、「これも経験。頑張れ!」と思いつつ、手を出したいところ。ぐっと我慢する私。親子ともに精神的に成長できたかもしれません。旅行では、さくら市総合公園プールに行きました。旅行前から

連日栃木では、お昼過ぎに雷が発生していました。当日も雷の予報。旅行参加者の親御さんも皆雷を心配していました。昼食をとり、いざプールへ!と皆が嬉しそうにプールで遊び始めて10分程経った頃でしょうか、雷が遠くの方で聞こえ始め、プールは一旦休憩時間となってしまいました。息子は楽しくプールで遊び始め気分も乗ってきた時に、「休憩」と言われても気持ちの切り替えが出来ず、大荒れです。普段なら他の人たちの目も気になるところですが、同じような経験をされてきた先輩ママ達と一緒にいてくれるため、私としても心強く、大荒れの息子の気持ちが治まるのをいつもよりも大きな心で待つていられた気がします。その後、雷雨のためプールは完全中止となり、プールには入ることが出来ませんでした。息子は次の日も持参したプールの写真を出しては、「ここ!ここ!」と言っていましたので、今年のリベンジのためにも来年もこの旅に参加させていただけたらと思っています。初めて尽くしの旅でしたが、ボランティアの方々や関係者の方、先輩の親御さんのお陰で貴重な体

験をさせていただくことが出来たことをとても感謝しています。有難うございました。

親子遠足のお知らせ

令和元年度の親子遠足は来年間催の東京オリンピック・パラリンピックの主会場となる新国立競技場がある神宮外苑です。新国立競技場周辺や紅葉したいちよう並木を散策し、聖徳記念絵画館を見学します。

日時…令和元年11月23日(勤労感謝の日)。行先…神宮外苑散策と聖徳記念絵画館見学。集合…JR信濃町駅改札北口 午前10…30。解散…午後1…30頃。参加費…無料。参加者全員に昼食を用意します。参加申し込みは各地区協会へ11月9日までに、参加者人数と療育手帳の有無をお知らせ下さい。



活動日誌

平成31年

- 1・12 市原・習志野・八千代市親子の旅事業(石井食品八千代工場見学)
- 1・19 自閉症協会理事会(千葉市西都賀)
- 1・20 だれもが住みやすい街づくりフォーラム from 千葉参加 (千葉市ハーモニープラザ)
- 2・2 「みち」No.94発行
- 2・3 君津地区親子の旅事業(ウォーキング 君津市周西公民館)
- 2・9 M3クラブ講演会 高機能自閉症・アスペルガー症候群のための支援自分も相手も大切に作るコミュニケーション「話す」「聞く」のコツあれこれ
- 2・16 講師・創価大学教育部ならび大学院臨床心理専修課程教授 園田 雅代 先生 (日本臨床心理士(カウンセラー)講演会 「自閉症児の将来を考える」
- 3・16 講師 株式会社Ariad代表 鈴木 慶太氏 (県教育会館) 自閉症協会理事会(千葉市西都賀)
- 4・13 第11回世界自閉症啓発デー「千葉」みんな大切な仲間です」パネル展示会&作品展 千葉市Orbital(さぼーる) 1階アトリウム
- 4・20 自閉症協会理事会(千葉市西都賀)
- 4・20 大学(大阪大、金沢大、浜松医科大学、千葉大、福井大) 連合小児発達学研究所 開設10周年記念式典・祝賀会参加(大阪)
- 5・25 第14回千葉県自閉症協会総会
- 6・8 講演・障害のある人と司法に係る様々なこと 講師・千葉県弁護士協会副会長中村恒平氏 (千葉県教育会館) 第48回成壮研ASC懇談会

令和元年

- 「親・本人の高齢化に備えて、今何をどのように準備すべきか (船橋市東部公民館)

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可 (毎月十八回) 一・二・三・五・六・七の日発行
二〇一九年九月二〇日発行SSKP増刊通巻第七二五六号

発行人 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三ー一七
ヴェルドルラ祖師谷二〇二

編集人 千葉県自閉症協会 広報部
事務局 千葉市中央区支鼻二一九一三 C A S 内
定価 一〇〇円

- 6・16 第6回一般社団法人日本自閉症協会総会(エッサム神田ホール)
- 7・11 千葉県特別支援学校PTA連合会参加 自立と社会参加推進会議参加
- 7・20 千葉県自閉症協会理事会(県教育会館)
- 7・30 第9回障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり推進会議参加
- 7・29〜30 松戸・柏・我孫子・野田・流山市キャンプ (栃木県大田原市ふれあいの丘)
- 8・17〜18 東総地区キャンプ (ピアスパークしもつま)
- 8・24 長生・山武地区(ボウリング大会)
- 8・31〜9・1 M3クラブ親子の旅事業(新潟県直江津)

「青春18きっぷで行く 大糸線 えちごトキめき鉄道の旅」

会員数の動静

令和元年8月27日時点の正会員数は751名、団体会員8団体、支援会員71名です

編集後記

令和元年9月9日未明、千葉県は台風15号の直撃を受けました。被害は甚大です。電柱がなぎ倒されたための停電、有線無線通信の途絶、断水といった生活インフラの破壊が広いエリアで発生し、懸命の復旧作業にも関わらず、なお不便な状況が2週間以上も続いている地域もあります。自閉症児者とその家族、施設にとってはとても厳しい状況です。もとの安定した生活に戻れますように、一日も早いインフラの全面復旧を祈ります。

千葉県自閉症協会への各種振込みは、郵便振込み00130121413176千葉県自閉症協会(チバケンジヘイシヨウキョウカイ)へお願い申し上げます。
千葉県自閉症協会支援会員の方
年会費3,000円
※千葉県自閉症協会への各種送金にもご利用下さい。